

静岡県漁業協同組合連合会
1127 静岡市追手町 9-18
17.1.21 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. サクラエビ漁 年間水揚げ1,826トン・42億1千万円 - 県水産試験場 -

県水産試験場などがこのほどまとめたサクラエビ漁況によると、秋漁は平成16年11月4日～12月24日まで行われ、17日出漁し、水揚量は301トとなりしました。これは、前年の470トを大幅に下回り、平成に入ってから秋漁としては、平成9年の294トに次いで2番目に低い結果となりました。

また、平均単価では2,561円/kgと前年の1,724円/kgを大幅に上回りましたが、水揚金額は7億7千万円と、平成に入ってから最も低かった前年の8億1千万円をさらに下回りました。

秋漁の漁場は、主に大井川沖～相良沖に形成され、漁獲されたサクラエビは、平均体長30.6mmの当歳エビ(前年は31.1mm)と平均体長40.5mmの1歳エビ(前年は42.0mm)の2群で構成されました。

なお、平成16年の春漁と秋漁を合わせた年間水揚量は1,826トンとなり、前年の1,913トンをやや下回りましたが、水揚金額は42億1千万円と、過去最高を記録した平成8年の42億7千万円に次ぐ結果となりました。

2. 平成15年の水産業生産指数 96.1に低下

農林水産省では、平成15年の農林水産業生産指数(確定値)を発表しました。この指数は農林水産業の生産量の動向をマクロ的、長期的に把握するための指標として毎年作成しているもので、現在は平成12年を基準年(100)としています。

それによると、農林水産業総合で92.9となり前年に比べ4%低下し、水産業生産指数は海面漁業以外の各部門で低下したのに伴い、水産業の指数は96.1で前年に比べ0.5%低下しました。水産業の各部門別の指数は次のとおりです。

海面漁業：生産指数94.4、前年比1.8%増加(ビンナガ、メバチマグロなどの漁獲量が減少したものの、サケ類、サンマ、ブリ類の漁獲量が増加)

海面養殖業：生産指数102.8、前年比4.2%低下(マダイ、ワカメ類の収穫量が増加したものの、板ノリ(クロノリ)、ブリ類、フグ類などの収穫量が減少)

内水面漁業：生産指数82.8、前年比12.6%低下(サケ類、ヒメマスなどの漁獲量が増加したものの、アユその他の水産動植物類、シジミなどの漁獲量が減少)

内水面養殖業：生産指数86.7、前年比1.4%低下(ウナギを除き収穫量が減少)

なお、農業の生産指数は92.4で米、野菜、果実が低下したため、前年に比べ4.9%低下し、林業も91.3で前年に比べ0.3%低下しました。

3. 水産海洋地域研究集会開催される 天然トラフグ資源増大への課題

水産海洋学会と東海大学海洋学部・海洋研究所の共催で、この1月15日に清水の同大学で、10～100トと年変動の大きい遠州灘の天然トラフグの漁獲量を安定させるため、東海3県の漁業関係者、県、国、大学の研究者及び水産庁の担当者等80名余が参加して、研

究成果と今後の課題を話し合う地域研究集会が開催されました。

セッション1では、和田時夫氏(水産庁)が座長となり、伊勢・三河湾系群トラフグ資源の近年の動向(堀井豊充氏・中央水研)と種苗放流の実績と効果(小泉康二氏・静岡水試浜名湖)の報告を受けて、トラフグ資源回復計画の今後の具体的な取組みについての提言(河尻正博氏・本会)がなされ、活発な意見交換がありました。

その結果、明らかになったトラフグ資源の研究成果と種苗放流事業の技術開発の成果を活用した資源増大策を、関係する伊勢湾の小型底びき網と遠州灘の延縄漁業者の十分な理解と協力を得て、遠州灘天然トラフグのブランド化に取り組む関係者の協力も得ながら、積極的に推進することが確認されました。

同日はセッション2で、サクラエビの資源量推定(福井篤氏・東海大海洋)と昨年のサクラエビ(實石正則氏・由比港漁協)とシラス(宮城島昌典氏と林国正氏・清水漁協)の漁況についても報告があり、漁況変動と黒潮大蛇行との関係など今後の研究課題について意見交換が行なわれました。

4. 平成16年海難認知隻数6,739隻

高等海難審判庁がまとめた平成16年の速報によると、船種別の海難認知隻数は全体で6,739隻となりました。このうち漁船は貨物船に次いで1,284隻で、このほか遊漁船73隻、プレジャーボートも368隻に上りました。

また、海難審判庁が平成13年から15年までの3年間に裁決した漁船衝突事件は662件で、このうちの約半数に当たる312件・378隻は、漁労中の漁船が関連したもので死傷者も多数出ました。

衝突の原因は「進路の見張り不十分」が多く、「不規則な漁船の動きが予測できなかった」「漁具・漁法の形態がよく分からず漁具の上部を通過して損傷させた」など、各海域ごとの操業形態を知っていれば防げたと思われる事故も少なくありませんでした。

5. 平成16年度安全指導講習会開催のお知らせ - 県遊漁船業協会 -

県遊漁船業協会による安全指導講習会の開催日程が次のとおり決まりましたのでお知らせします。(詳細は、本紙 1126(1/14付)で既報。)

<開催日程・会場(対象地区)>

日 時	会 場	対象地区
2月 1日(火)午後2時	静岡漁協会議室	沼津地区
2月 2日(水)午後2時	土肥総合会館会議室	西伊豆地区
2月 9日(水)午後2時	焼津漁協会議室	静岡・志太地区
2月18日(金)午後3時	御前崎漁協会議室	榛原・磐田地区
2月23日(水)午後2時	伊東市漁協会議室	伊東地区

6. 諸会議日程(1月25日(火)～2月7日(月)) - 既報分省略 -

2月5日(土) JF静岡女性連 = 役員会 (県水産会館)

- 訂正 - 本紙1126(1/14)掲載の平成16年焼津漁港水揚3年連続でトップの中で、小川魚市場の水揚げ数量3万204トは3万3,204トの誤りですので、お詫びして訂正します。